

近畿学校保健学会通信

№68

平成3年2月15日発行
近畿学校保健学会事務所
〒640 和歌山市九番丁27
和歌山県立医科大学衛生学教室内
TEL0734-26-8324(直通)
振替口座 大阪4-107021番

第38回 近畿学校保健学会の開催にあたって

第38回近畿学校保健学会

学会長 河 瀬 雅 夫

(天理大学 体育学部教授)

昨年6月、大阪大学の主催で開催されました第37回近畿学校保健学会の総会において、第38回学会を奈良県が当番としてお世話させていただくことになり、未熟者の私が、伝統ある当学会の学会長として大役を仰せつかりました。会員の皆様方の暖かいご支援と、関係機関の多大な協力を賜わりまして、有意義な学会にいたすべく、微力ながら努力いたしたいと存じます。

開催要項にもありますように、期日は平成3年6月15日(土)、会場は奈良市の玄関口にあります「奈良市中央公民館」にさせていただきました。この会場は近畿日本鉄道奈良駅より徒歩で3分、JR奈良駅より同じく8分と便利な場所にあり、第32回学会を開催したお馴染みの場所になります。また、新緑の新装整備された奈良公園にも近く、昼の休憩の散策にも適している会場と考えております。詳細につきましては、次号の学会通信に掲載いたします。

本学会の日程と内容につきましては、幹事会、評議員会のアドバイスを基に、奈良県の運営委員会を開催して検討した結果、要項に掲載いたしました内容になりました。あまり代わり映えのしない学会の流れとお叱りをこうむるかと思存しますが、特別講演とシンポジウムの内容を充実したものになるように企画いたしました。また、多くの成果のあがる討議を期待して午前中を一般講演の演題について検討していただき、午後は総会、特別講演、シンポジウムといたしました。

特別講演は、生涯学習としての健康を考える時代であり、指導要領の改訂もこうした体系の中から考えることになってきたこと。健康教育では先進国とされている欧米にあって、健康を啓蒙するだけの教育の時代はすぎ、経験をとらえて実践させる時代に変化しており、それに加えて「自主、積極、努力」を要求されるに至っております。一方、こころと体の関係を思考し、いのちの尊さを再考することが強く要求されています。こうした時代背景に鑑みて、元天理よろず相談所病院 憩の家病院長山本利雄先生に講演を依頼いたしました。先生の胸部外科医としての症例を基にした生命の尊厳や、海外医療部長としての豊富な経験は今回ご参加いただく会員の皆様のみならず、多くの聴講いただく人に感銘を与え、示唆に富んだお話が伺えるものと確信いたしております。

こうしたことから、シンポジウムのテーマも身近であり、問題が山積している題材を選びました。フロアーからの活発な発言が得られるよう、ご協力を賜りますようお願いいたします。特にこの度は、テーマに副題を付して具体化をはかり、会員以外の関心をお持ちの方にも気軽に討論に参加していただけるように、また、若いフレッシュな会員にも発案いただける工夫をいたしたつもりであります。

最後に、学会開催日が会場の計画もあり土曜日になり、昨年の「現場の先生方の抵抗ない参加のためには日曜日に」という主旨にそえない結果になりましたが、当番にあたる県の事情など、種々の検討を重ねました結果として、開催要項に示しました期日に決定させていただきました。

ご参加の会員各位、多くの関心をおよせになる皆様のご理解を賜わりたく存じます。

第38回 近畿学校保健学会(平成3年度年次学会)開催要項

1. 学 会 長 天理大学 体育学部 教授 河 瀬 雅 夫
2. 事 務 局 〒632 天理市田井庄町80
天理大学 体育学部 運動生理学研究室
第38回近畿学校保健学会事務局
(事務局長 天理大学 体育学部 教授 荒地 秀明)
☎ 07436-2-3076
振込口座 南都銀行天理支店 普通 004386
3. 開催期日 平成3年6月15日(日)
4. 会 場 奈良市中央公民館(奈良市上三条町23-4)
5. 日 程 受付 午前9時から
午前 ○2～3会場にて一般演題発表(質疑応答)
昼休 ○評議員会
午後 ○総会
○特別講演 「いのち今、を生きる」
山本 利雄 先生(元 天理よろず相談所 憩の家病院院長)
○シンポジウム
「生涯学習体系の中の学校保健」
一明日への期待、みつめ 気づき 実践する健康—
○懇親会(春日野荘 公立学校共済組合)
会場より徒歩15分 バスにて送迎予定
6. 会 費 正 会 員 3,000円 当日会員 2,000円
学生当日会員 1,000円(含 資料代) 懇親会費 4,000円
7. 参加申込 学会員でなくても、また近畿圏外の方であっても、関心のある方の参加を歓迎いたします。
送信用封筒(宛名および72円切手付き)を下記事務局宛に送付していただければ、5月下旬までにプログラムその他の詳細を掲載した「学会通信」がお手元に届きます。
なお、一般演題発表の希望者は、共同研究者も含めて正会員になる必要があります。
会員でない方は、「近畿学校保健学会事務局」に入会手続きをして下さい。
※近畿学校保健学会事務局
〒640 和歌山市九番丁27 和歌山県立医科大学衛生学教室 ☎(0734)26-8324
8. 一般演題 発表申込 発表希望者は、申込み用紙に必要事項を記入の上、4月8日(必着)までに、第38回学会事務局宛てに申込んで下さい。折り返し予稿集用オフセット印刷原稿用紙をお送りいたします。なお、原稿の締切は、5月2日です。既発表のもの、及び同一研究内容の分割発表はご遠慮ください。

特別講演、シンポジウムテーマの紹介

◎特別講演について

＜テ ー マ＞ 「いのち今、を生きる」

＜趣 旨＞ 地球のみに「いのち」がある。大方の理論物理学者の推定するところによれば、地球以外の惑星に「いのち」の存在する確率はゼロである。それ故、地球は宇宙の一部分ではない。「いのち」という観点に立てば、地球は宇宙の存在目的である。「いのち」こそ宇宙そのもののなのです。

約9億年前ビクター・スプリング・チャートの化石が物語るように、原始地球のどろ海にあった藍藻と細菌という二種類の原核細胞を雌雄性の材料として、真核細胞による有性生殖がはじまったことこそが、一切の生物が、いま、ここに存在する出発点と考えられるのです。そうして、進化をくりかえし、絢爛たるいのちの歴史がくりひろげられるのです。

しかるのち、脳の容積が増すにつれ文化の進歩、ヒト中心主義、個体尊重主義の論理の上に生存競争と淘汰の論理がヒト文化の土台となってゆきます。こうした論理も実は自らの破滅への病根であることに気づき、これに代る価値観を求める時代へと変わっています。

今回、ヒト文化の進歩の基盤を検討することに始まり、今、日本で何が起っているか、そして、世界で何が起っているかを分析し、科学技術の限界に冷静に批判を加え、科学の傲慢から目覚めなければならないことを警告したい。また、ヒト中心主義、個体尊重主義の病根は何かに迫り、科学者として、医師として、そして信仰者、宗教者の立場に立脚して、「よふきぐらしの世界」と「真に生きる」ことを説くものである。

＜講師の横顔＞

山 本 利 雄（やまもと としお） 元 天理よろず相談所病院 憩の家 院長

1924年（大正13年）奈良県天理市生まれ

1949年（昭和24年）京都大学医学部卒業 胸部外科学専攻

1955年（昭和30年）医学博士

1957年（昭和32年）三重大学医学部胸部外科学講座 助教授

1966年（昭和41年）天理よろず相談所病院憩の家 胸部外科部長

1968年（昭和43年）同 病院 海外医療科部長

1972年（昭和47年）同 病院 院長

1989年（平成元年）天理教教会長専従

この間、アフリカ、コンゴ、ブラザビルに6回、東南アジア諸国に6回の海外医療奉仕活動に活躍、海外医療機関の建設にも協力。

専 攻 胸部外科学

著 書 「現役の主役」（天理教道友社）

「メコンの濁き」（講談社）

「パパのいのち」（一洋社）

「いのち今、を生きる」（天理教道友社 1988年初版がだされ、

1989年1月までに5版にいたる）

「重症の枕もとで 一手当ということー」（天理教道友社 1989年）

「人間創造」（天理教道友社 1990年）

◎シンポジウムのテーマについて

＜テ ー マ＞ 「生涯学習体系の中の学校保健」

—明日への期待、みつめ 気づき 実践する健康—

＜趣 旨＞ 「生涯教育」と言う言葉もいささか耳慣れ、空念仏的な色彩すら感じられる。しかし、具体的に「生涯教育が何で、どの様に教育したか」の問題に至ると、これだと主張するものももちあわせていない。ひとの生涯に影響を与え、その結果が善であるか、悪であるかの判断をすることも難しい。こうしたことで、「生涯教育」をてっとり早く結果を観察できる、管理教育へと移行させたことにはなっていないだろうか。

欧米のこうした教育を視察し調べてみると、管理教育、啓蒙の教育は一時代前のものとなり、経験と実践の思考錯誤で体得する時代へ代りつつあるといえる。そこには自主性、積極性が重んじられ、努力することの意義が説かれている。「努力にまさる師はなし」の言葉であるが、次の時代を背負う青少年に何を気づかせ、何を実践してもらうべきか、このシンポジウムで議論していただきたい。「学校保健」を極わずかな養護教諭、保健担当教員、学校医・歯科医のみに頼る時代から、学校で、家庭で、そして社会が考え、積極的に実践する教育に移行しなければならないのではないでしょうか。

この様な趣旨により、今回下記に示す分野で活躍されている方に登壇願い、話題、問題点を明らかにし、ご参会の皆様から活発なご意見をちょうだいし、なんらかの指針と示唆を得たいと考えています。

奮ってご参加ください。

- (1) 障害児(者)教育の中からの提言
- (2) 学校教育の中からの提言
- (3) 学校医の立場からの提言
- (4) 家庭教育の中からの提言

平成2年度第2回幹事会記録

日 時 平成2年12月8日(土) 午後2時半～4時半

場 所 和歌山市民会館 3階第2会議室

出席者 12名

議 事

1. 第38回近畿学校保健学会(奈良)の企画について

河瀬雅夫年次学会長および中山厚生事務次長から説明があった。日程については原案どおり平成3年6月15日(土)に開催することが承認された。シンポジウム、特別講演等の特別企画については地元奈良県に一任し、幹事には後日郵送にて承認を求めることとした。なお、次期幹事会は4月13日(土)、奈良中央公民館で学会場の下見を兼ね開催されることとなった。

2. 次期役員の選出方法について

武田幹事長より学会役員選出方法を検討する小委員会の設置が提案され、承認された。なお、小委員として次の7名の幹事が選出された。上延(大阪)、松岡(和歌山)、林(滋賀)、寺田(京都)、山本(奈良)、美崎(兵庫)および武田幹事長。

3. その他

一名の幹事の推薦がなされたが、改選時期の関係で先送りとなった。

第38回 近畿学校保健学会演題申込み用紙

(1題1葉に記入のこと。＊印欄は記入しないこと。下記注意書き必読のこと。)

演題名	
発表者氏名、所属 (連名で発表の場合は演者に○印、新入会員には＊印)	
連絡先	TEL ()
住所	
氏名	
発表要旨 (100字ぐらいに) [キーワード]	
＊受付番号 :	演題番号 :
原稿用紙発送 : 月 日	発表時刻 : 午前 時 分
:	会場 : A . B . C

申込み用紙不足の場合は、これと同じ様式のものをを用いて下さい。

記

1. 口演内容は学校保健の立場に立脚し、具体的な資料にもとづいた研究発表を希望します。
2. 発表者は原則として会費を前納して下さい。
3. 演題名、発表者氏名は演題申込み用紙に記入のものをプログラム、講演集にも使用します。後刻の訂正には応じられませんので十分に検討の上、変更のないようお願いします。
4. 演題申込みはこの用紙 (または同様式) に必要事項を記入し、1991年4月8日(月)までに第38回学会事務局あてお送り下さい。折返し予稿集作成用の所定の原稿用紙をお送りします。

申込み先：〒632 天理市田井庄町80

天理大学 体育学部 運動生理学研究室
第38回近畿学校保健学会事務局